

第22回 独立行政法人国立重度知的障害者総合施設
のぞみの園運営懇談会議事要旨

平成30年10月12日（金）
13:30～15:30
管理棟2階会議室

1 開 会

2 理事長あいさつ

3 議 事

(1) 独立行政法人評価に関する有識者会議について

- ・平成29事業年度業務実績評価結果
- ・第3期中期目標期間業務実績評価結果

(2) 国立のぞみの園在り方検討会報告書への対応について

(3) 入所利用者の健康状態等に配慮した転寮の取組について

(4) 平成30年度 調査・研究テーマについて

- ・重度障害者等の地域生活における潜在的な要支援状況に対する市町村担当者による現状把握と支援の実施促進のための手引き作成に関する調査研究（申請中）

(5) 発達障害者支援に関する取組について

- ・国立障害者リハビリテーションセンターとの連携

4 報告事項等

(1) 独立行政法人評価制度委員会「法人活性化につながる取組の発表」

(2) 平成30年度たかさき環境賞受賞について

(3) 国立のぞみの園福祉セミナー2018／日本発達障害学会第52回
研究大会ポストセミナーの開催

(4) 平成30年度 福祉セミナー等の開催について

(5) 第16回のぞみふれあいフェスティバル

【議事に対する主な質疑（○：委員、●：のぞみの園）】

(1) 独立行政法人評価に関する有識者会議について

○旧コロニーからの入所利用者について、地域移行や死亡により年々減少しているが、今後施設の存続はどうなるのか。

●引き続き、新規入所の受入れは行わないが、国から示された目標に沿って、著

しい行動障害等を有する者、矯正施設を退所した知的障害者について、有期限での入所支援の受入れを拡充するなどしていく。今後については、在り方検討会報告書にあるように、厚生労働省と当法人と検討していくこととなっている。

○入所相談や入所受入れ依頼が多数あると思われるが、入所に関する基準はどのようなものか。

●有期限（2年～3年以内）での支援となるため、のぞみの園への入所前から退所後の支援体制や行政等関係機関の連携状況を踏まえて判断している。

○この先の地域移行については、過去からの数字が示すとおり困難と思われる。

●入所利用者の状況等、種々の課題に対して丁寧に取り組んでいきたい。

○強度行動障害者支援、発達障害者支援については、早期療育として乳幼児期からの支援について更に取り組んでもらいたい。

●ご指摘も踏まえ、取り組んでいきたい。

○通所部門において、一般就労への移行者数の実績値が目標を下回った理由は。

●特別支援学校を卒業された方のうち、当法人を利用されるのは障害の重い方が多いため就職には結びつかなかった。一般就労に向けた訓練等を行っているが、期間内での目標達成は難しいのが現状である。

(2) 国立のぞみの園在り方検討会報告書への対応について

○地域移行推進について、理念としてはわかるが簡単ではない。移行後の様子等は調査されているのか。

●地域移行は、国としてのミッションであり、引き続き粘り強く丁寧に取り組むとともに、これまでの実績や事例について全国へ情報発信を行う。

●地域移行者への定期的なフォローアップを実施しており、主な移行先となる出身地の障害者支援施設、グループホームでの暮らしに、移行された利用者及び保護者から一定の評価を得ている。

(3) 入所利用者の健康状態等に配慮した転寮の取組について

○利用者の転寮は毎年実施しているのか。

●転寮については、個々の利用者の現状等に応じて、また、生活グループのバランスをみながら必要な時期に実施することとしている。

(4) 平成30年度 調査・研究テーマについて

○強度行動障害支援者養成研修の効果的なカリキュラム及び運営マニュアルの作成とあるが、誰を対象にしたものか。ぜひ、教育現場の方も対象としていただきたい。

●強度行動障害者を受入れる施設が不足しているという現状に対応するため、主に障害者施設等の支援者を対象にしている。

(5)発達障害者支援に関する取組について

○国立リハセンターとの連携は賛成。医療や福祉等の資格取得養成カリキュラムに発達障害についての授業を取り入れ、理解を深めてもらいたい。

●運営懇談会でいただいた意見として、リハセンターへ伝えたい。

・報告事項については、意見なし

